

平成19年11月22日

各 位

不動産投信発行者名

東京都港区六本木六丁目10番1号
六本木ヒルズ森タワー

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 博之

(コード番号：8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 博之

問合せ先 管理本部長

板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2007年10月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の2007年10月度の月次総売上げ並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR及びRevPARを下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル名/項目	客室稼働率(%)	ADR(円)	RevPAR(円)	売上高(百万円)
神戸メリケンパークオリエンタルホテル	79.3%	15,955	12,651	621
オリエンタルホテル 東京ベイ	87.9%	19,201	16,873	624
なんばオリエンタルホテル	91.3%	10,097	9,218	165
ホテル日航アリビラ	90.3%	19,278	17,409	451
オリエンタルホテル広島	73.1%	8,766	6,412	184

上記開示に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門においては、前年同月を上回るADRを確保いたしましたでしたが、昨年行われた国体需要が本年にはなかったことで神戸マーケット全体が低調であったことにより、客室稼働率が前年同月を下回り、結果として前年同月を下回る売上となりました。レストラン部門も客室稼働率低下の影響により、前年同月を下回る売上となりました。婚礼部門では、件単価は料理のグレードアップを受注することにより前年同月を上回りましたが、日並びの影響等により件数が全年同月を下回り、結果として前年同月を下回る売上となりました。ホテルの総売上も、前年同月と比較して下回る結果となりました。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門においては、前年を上回る水準のADRを確保いたしましたでしたが、東京ディズニーリゾート来園者数の前年同月比ベースでの落ち込みや、新規参入ホテルの影響により客室稼働率が低下し、結果とし

て前年同月を下回る売上となりました。レストラン部門では、平成19年7月に改装を行ったレストラン「チャイニーズ・テーブル」は、前年同月を上回り引き続き好調でしたが、客室稼働率低下に伴う朝食売上の減少により、レストラン部門全体の売上は前年同月を下回る結果となりました。宴会部門においては、一般宴会及び婚礼宴会ともに好調であったことから、前年同月を上回る売上となりました。ホテルの総売上は、客室稼働率の低下を受けた宿泊部門及びレストラン部門の売上減を宴会部門売上増がカバーし、結果として前年同月を若干上回る結果となりました。

なんばオリエンタルホテルについて

当ホテルにおいては、インターネットを通じたウェブ予約、エージェントを通しての予約共に前年同月を上回り、客室稼働率・ADR共に上昇させ、ホテルの総売上は、前年同月と比較して上回る結果となりました。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門においては、連休に台風が重なった影響等により客室稼働率が前年同月を下回りましたが、価格施策によりADRが前年を上回り、結果として前年同月を上回る売上となりました。しかしながらレストラン部門においては、客室稼働率低下に伴う客数の減少により、前年同月を下回る結果となりました。宴会部門売上は、一般宴会が低調であったため、前年同月と比較して下回る結果となりました。結果として、ホテルの総売上は、前年同月を若干下回る結果となりました。

オリエンタルホテル広島について

前年同月の比較対象となる平成18年10月が、オリエンタルホテル広島の開業月にあたることから、宿泊、レストラン、宴会の各主要部門の売上及びホテルの総売上は、前年同月(126百万円)を大幅に上回る結果となりました。宿泊部門においては、客室稼働率が前年同月(49.7%)を上回ったこと、レストラン部門においては、客数が増加したことにより、共に前年同月を上回る売上となりました。宴会部門においても、婚礼売上が前年と比して大幅に増加したことにより、前年同月を上回る売上となりました。

-
- 注1) 上記のコメントは運用会社が貸借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完前性について保証できるものではありませんのでご注意ください。
- 注2) 各月の数字については監査等の手続を経ないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合があります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。
- 注3) ADR：平均客室販売単価(Average Daily Rate)をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計(サービス料を除きます。)を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- 注4) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上(Revenue Per Available Room)をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

以上

*本投資法人のホームページアドレス：<http://www.jhrth.com/>